

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：37502

学校名：手稲西中学校

改訂のポイント		<p>○本校の学習環境(小規模校)を生かし、一人一人より丁寧できめ細かな対応をする。</p> <p>○地域の特性を生かし、小学校との連携を深めて小中一貫した教育目標の共有を目指す。</p>		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<p>☆自ら課題に気付き、その解決に向け計画的に学習することができる生徒</p> <p>☆他者との学び合いから、対話的に学び合う方法を身に付けようとする生徒</p>		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>○学び方や自ら学ぶ意識を育て、学習習慣の確立と学びの姿勢の育成を図る。</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒校内学習評価アンケートで「自ら進んで、意欲的に授業に取り組む姿勢が身についていると思いますか」では全学年、各教科において高い結果であった。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇学習などについてのアンケート(札幌市共通指標)で、「普段から、計画を立てて勉強している」の項目が「当てはまらない」「どちらかと言えば、当てはまらない」合わせて73.7%であった。改善の取組が必要である。</p>
	思考力・判断力・表現力等	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>○活発な学習活動を促し、ディスカッションを取り入れ、学びあう姿勢を育て、課題探求的な学習に取り組む学びの実践を目指す。(最重要)</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒特に、総合的な学習の時間において「総合基礎」では1分間スピーチ、また「調査・追求」では見学・体験を通して学んだことを発表する場面を通して、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考える力が育った。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇発表する場面は作られているが、発表について「積極的な話し合い」へと結びつけるための、意図的な取組が必要である。</p>
	基礎的・基本的な知識及び技能	<p>【昨年度の具体的な取組】</p> <p>○基礎基本の定着を図るため、「わかる」「できた」など自分の伸びを実感できる教材の提供を図ると共に、日常の学習に関しても計画を立て取り組む姿勢を育て、実践できるよう働きかける。</p>	<p>【成果】</p> <p>⇒学習などについてのアンケート(札幌市共通指標)で、「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがよくある」の項目が「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」合わせて86.9%と高い結果であった。</p>	<p>【課題】</p> <p>◇全国学力・学習状況調査で、「家で、自分で計画的を立てて勉強していますか」では「している」「どちらかといえば、している」合わせて38.9%であった。(全国平均50.4%)改善の取組が必要である。</p>
改善策(取組)	今年度の具体的な取組の最重点	<p>【取組の共有】</p> <p>学習環境(小規模校)を生かし、個々の能力に合ったきめ細やかな指導を充実させるとともに、あらゆる場面で自立を促す取組を行う。</p>		
	具体的な改善策(取組)	<p>○生活のリズムの確立や学習習慣を定着させるために、フォーサイト(振り返り向上手帳)を有効に活用する。</p> <p>○「わかる」「できた」など自分の伸びを実感できる授業の充実を図るために、学習環境を生かし、体験的な学習や課題探求的な学習を積極的に取り入れる。</p> <p>○授業や行事を含めたあらゆる機会の「学び合い」の場面において、人と学び合う中でも、自分の考えをもつことの大切さを指導する。</p> <p>○小中一貫教育を踏まえ、小学校との共有を目的とした研修を充実させる。(昨年度1回実施)</p>		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<p>○年2回の校内学習評価アンケートの活用(学習に対する取組や授業改善のための指標)</p> <p>○全国学力・学習状況調査の活用(全国における学習状況の把握と振り返りのための指標)</p> <p>○札幌市全体の共通指標の活用(学習に対する意識や学校課題の把握とその後の取組のための指標)</p>		